

蒼

S O H T E N

天

2007年度 第2号(夏号)通巻24号

発行日 2007年7月1日

社会福祉法人 青空会

生活介護事業所 あおぞら

〒852-8143

長崎市川平町1074-11

TEL 095-843-9001

FAX 095-843-8203

メール aozorakoubou@nifty.com

ホームページ

<http://www.kaizer.co.jp/aozora/>

はじめに

新しいあおぞらが始まって、瞬く間の3ヶ月が過ぎてしまいました。「なかま」たちは元気です。これまでのリサイクル石けん作りがなくなったのに、「なかま」たちとゆっくり向き合う時間が取れていません。ここに小さな集いの場を作らせていただいた時からの願いに近づけるはずなのに。反省しきりです。「蒼天24」をお届けするのも遅れました。申しわけありません。あおぞらでの生活リズムは基本的には変わりはありませんが、様々な試みや新しい業務が当たり前機能するまでもうしばらくかかりそうです。焦らず、諦めずです。

朝、「おはよう」と一緒に「マカトンやる？」の言葉が聴かれるくらいに、今、あおぞらのPM3:00からは、皆が一番集中し一つになれるマカトンの時間です。マカトン法は、様々な原因で言葉の発達が伸びにくかったり、遅れがちな人々の心身の発達を考慮し、単にコミュニケーションの手段としてばかりでなく、その言語による認知や思考能力の発達をも促す非常に優れたサイン言語法です。一般に指導場面での指導は、一対一や小集団の形態だそうですが、あおぞらでは「なかま」も職員も皆で行う共通の楽しみの時にできればとはじめました。「昨日覚えたサインが何一つ出来ない事が当たり前。」「日々新たに覚えられればいい。」「その時が楽しいものにできれば必ず残る。」の共通認識を持って取り組んでいます。楽しい雰囲気だけはよく伝わっているようです。日常会話で当たり前サインが使われるようになりますよ。いつかは。

ひめ日記

7月1日で、満3歳になりました。昨年までのようにひと時もじっとしていない幼い動きはなくなりましたが、太ることも無く、スリムな体系は維持できているようです。年とともに、話す言葉をよく理解し、それにきっちり答えてくれるなかなか賢い娘であります。（どこもわが子が一番ですから）近所のファンの子も様変わりしましたが、最近は双子の女の子達が逢いに来てくれます。相変わらず嬉しそうに応じています。



（玄関前）

ビワ狩り

6月1日天気は曇り。外海町にビワ狩りに行ってきました。お昼は畑にビニールシートを敷いて、山の空気に触れながらおにぎりにフライドチキン。「外のご飯は美味しいね」とお喋りしながらビワ狩りのため、鋭気を養っておりました。ビワ畑まで約10分。山道を歩いたのですが、皆歩き慣れた様子で細い道も何食わぬ顔でズンズン登りビワ畑に到着。かぶせた袋を破ると、濃いオレンジ色のビワの実！！ 味も甘みも格別で、味見しながらの大収穫。あおぞらの「なかま」達は・・・と言うとビワの実よりも草を摘んでいるTさん、自分の帽子にビワの実を沢山入れて運搬の手伝いをしているEさん、軍手をつけて貫禄充分に現場監督をしているYさん。おのおの楽しんでいましたが、山の空気を吸い、自然の力をいただいたビワ狩りでした。

毎年ご招待いただいている、時津ライオンズクラブの蔭平さま、田崎様ほかクラブ員の皆様、ビワ畑を提供してくださる岳野様、本当に良い経験をさせていただきました。（朝美記）

6/2 四本堂にて

あおぞら恒例の行事となった、高口さんとそのお仲間のご招待バーベキュー大会が、今年は四本堂公園で開催された。当日は朝まで天候が怪しく、空を見上げては中止か？と不安でしたが、日ごろの皆さんの行いの良さでしょう。無事予定どおりの開催にホッとしました。準備されたスタッフの皆さんは、私たち以上にハラハラ、ヤキモキと何度も空を見上げたことでしょう。しかし、その天気のおかげか？まるでプライベートエリアのごとく、私たちだけで広大な公園、素晴らしい景色、アスレチックと思う存分に満喫し、遊ぶことが出来ました。いつもながらバーベキューはやわらかくて美味しい肉に、愛情のこもったおにぎりの数々、揚げたての熱々てんぷらや春巻きに感動し、歓談しながら美味しくいただきました。ご馳走様でした。又、年々、情熱を増すフラメンコは舞台に映えてとても素敵です。

一日幸せな時間を過ごすことが出来ました。毎年この催しを企画していただき、沢山のスタッフの皆様にご尽力をいただきましたことに心よりお礼申し上げます。

あおぞら一同 感謝 感謝です。

(路子記)

自己紹介

あおぞらと出会って10年。ことし4月から生活支援員としてあおぞらの一員となりました、内野朝美です。

4年前、息子を出産するまでの約一年間、事務員としてあおぞらと関わらせていただきましたが、今回は念願の生活支援員です。楽しみ半分不安半分で取り組み始めましたが、一週間があっという間に過ぎる程楽しみが多くあります。毎日の散歩、週に一度の乗馬とプールなど、毎日の中で常に「笑顔」があり、私自身身も心も健康になっているように思います。

これからもあおぞらの家庭的な雰囲気大切に、利用される「なかま」の皆さんにケガの無い様見守りつつ、私もあおぞらでの生活を楽しみたいと思います。

あおぞら日誌

- 4月 2日 O. Nさん誕生会。お花見（三川公園）。
- 3日 家族会。来客1名。
- 4日 乗馬。

- 6日 プール（ハートセンター温水プール）。来客3名。
- 11日 乗馬。
- 13日 プール。
- 17日 来客1名。
- 18日 ポニーランド長崎との交流会。来客1名。
- 19日 諫早養護学校から見学（3名）。
- 20日 エアロビ（久保純子先生＋サントピアの仲間達）。プール。
- 21日 来客1名。
- 25日 乗馬。
- 27日 プール。職員会議。
- 28日 帆船祭り見学。
- 5月 1日 家族会。来客。
- 2日 乗馬。
- 7日 来客2名。
- 8日 F. Aさん誕生会。
- 9日 乗馬。
- 10日 諫早養護学校実習予定者来所（3名）。避難訓練。
- 12日 N. Tさん誕生会。来客1名。
- 15日 内部監査。
- 18日 プール。
- 22日 来客1名。
- 23日 乗馬。来客1名。
- 25日 プール。
- 28日 諫早養護学校生1名実習（6月1日まで）。前市長市民葬参列（5名）。
- 30日 乗馬。
- 31日 職員会議。
- 6月 1日 ビワ狩り（外海町）。
- 2日 バーベキュー交歓会（四本堂公園）。
- 5日 家族会。
- 6日 健康診断（中央保健センター）。
- 13日 ポニーランド長崎との交流会。
- 15日 プール。
- 18日 鶴南養護学校実習1名（29日まで）。
- 20日 乗馬。
- 21日 プール（今日より毎週木曜日に実施）。



「暖かでおだやかな場」の仲間になりませんか。

- 利用者一人ひとりの全人格を尊重し、ともに生きることを目指します。
- 個々の特性にあった活動の目標を設定し、目標達成の喜びが得られるような支援を心がけます。
- 心身ともに健康で明るく活動できるよう、健康維持・増進をご家族とともに考えていきます。
- 情緒の安定や自己表現を促す文化活動を提供します。
- 働くことの楽しみや喜びを感じるよう支援します。
- 衛生的で、快適な環境を提供できるよう努めます。

【沿革】

- 1994. 6. 10 小規模作業所「石けん工房・ワークショップ青空」として、リサイクル石けん作りの活動が始まった。
- 2001. 9. 27 社会福祉法人青空会として法人の認可を受ける。
- 2001. 10. 1 知的障害者小規模通所授産施設「あおぞら工房」として再出発する。リサイクル石けん・キャンドルの製造販売を継続して行う。
- 2007. 4. 1 障害者自立支援法（2006.4.1施行）に伴い、「生活介護事業所あおぞら」に移行した。

利用料等は、お問い合わせください。
AM8：30～PM5：30（定休日以外）

社会福祉法人 青空会



生活介護事業所

あおぞら

〒852-843
長崎市川平町1074-11
TEL 095-843-9001
FAX 095-843-8203
<http://www.kaizer.co.jp/aozora/>

あおぞらの一日は

送迎バスが仲間を運んできます（9じすぎ）

バイタル・連絡帳のチェック・職員の打ち合わせ・ラジオ体操・散歩

作業や機能訓練の時間が始まります（9じ40ぶん）

ありがとうのカード作り・キューブ訓練・キャンドル作り・石けんの袋詰め・ストレッチ・マッサージ
月1度、エアロビは指導者を招いて行います

お昼はいろいろな弁当を注文します（11じ30ぶん） 月に一度外食に行きます
お休み時間は（12じから13じまで）

午後の活動です（13じから14じ30ぶんまで）

約2キロの散歩・乗馬・遊泳（ハートセンタープール）・ドライブ・畑仕事

おやつ（14じ30ぶんから）

マカトン法の練習（15じから）楽しいですよ！

送迎バス乗車（15じ30ぶんから）

ピアノの練習をしたい方いつでもおいでください ピアノが待っています

定休日一日曜日・祝祭日・8/13～15・12/29～1/3